



# 2023年度 第2回 ダイバーシティ 就労支援実践研修 ご案内

一般社団法人ダイバーシティ就労支援機構  
代表理事 岩田 克彦



## 内容

1. 多様な就労困難者
2. 各就労類型の位置関係
3. WORK! DIVERSITYプロジェクトの3本柱
4. ダイバーシティ就労支援実践研修とは?
5. 2023年度の研修について
  - (1) 研修概要
  - (2) 研修プログラム
  - (3) 講師陣

# 1. 多様な就労困難者

重複調整後の総数（65歳～の高齢者を除く）  
うち無業者

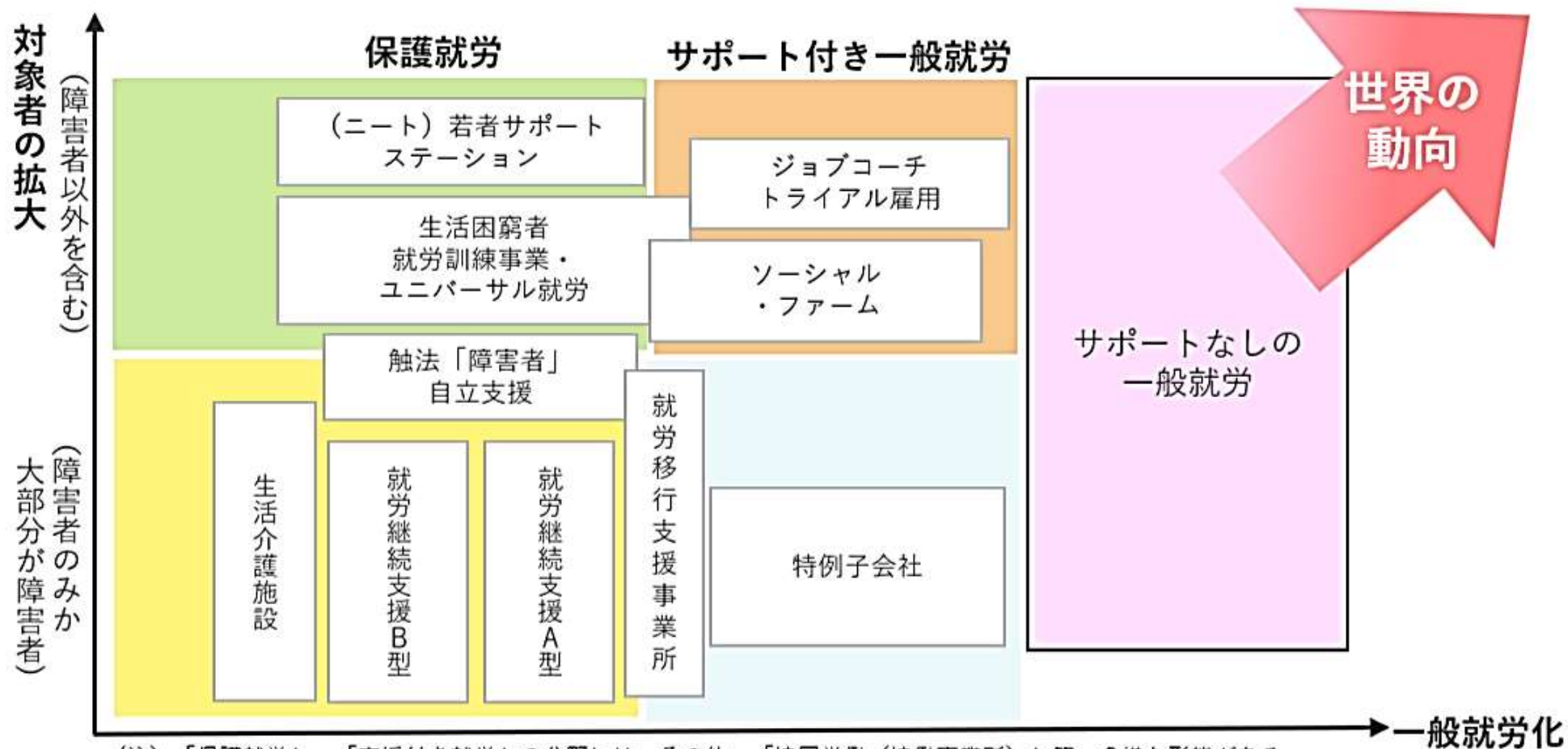
1,518万人  
515万人

障害者	難病患者	糖尿病患者	がん患者	エイズ／HIV 患者数	高次脳機能 障害者
403万人	47万人	186万人	49万人	2.0万人	8.0万人
若年性 認知症患者	ギャンブル 依存症	薬物使用者 (生涯経験あり)	アルコール 依存症	LGBT等	社会的養護施設 退所者
3.8万人	56万人	216万人	43万人	235万人	11万人
刑務所出所者等	ニート (15～34歳)	不本意フリーター (15～34歳)	就職氷河期世代 (支援対象者)	広義引きこもり	ホームレス
30万人	53万人	20万人	125万人	54万人	0.3万人
ネットカフェ 難民	貧困母子家庭	貧困父子家庭	生活保護世帯 (その他の世帯)	高齢者 (65～69歳)	
0.5万人	36万人	1.8万人	25万人	946万人	

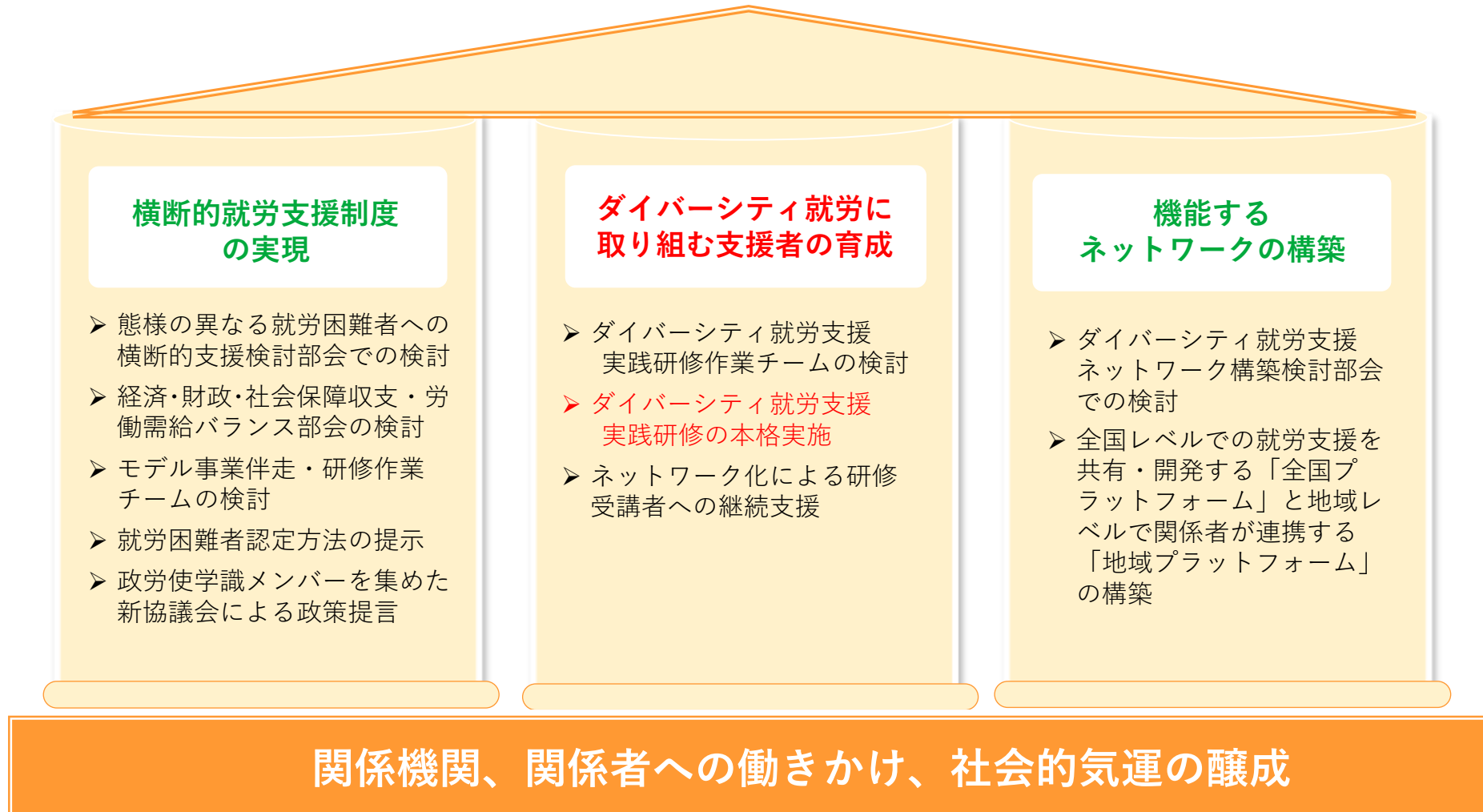
(出所) 「日本財団WORK! DIVERSITY プロジェクト：2019年度経済・財政・社会保障・労働需給バランス検討部会報告書」

## 2.各就労類型の位置関係

『サポート付き一般就労』や『保護就労』の本格的ダイバーシティ化が急務



### 3. WORK! DIVERSITYプロジェクトの3本柱



## 4. ダイバーシティ 就労支援実践研修とは？

ダイバーシティ就労支援のプロとなり、  
各地域でダイバーシティ就労支援の  
サポーターとなっただく人材を育成するため、  
わが国初の研修を2022年11月に実施

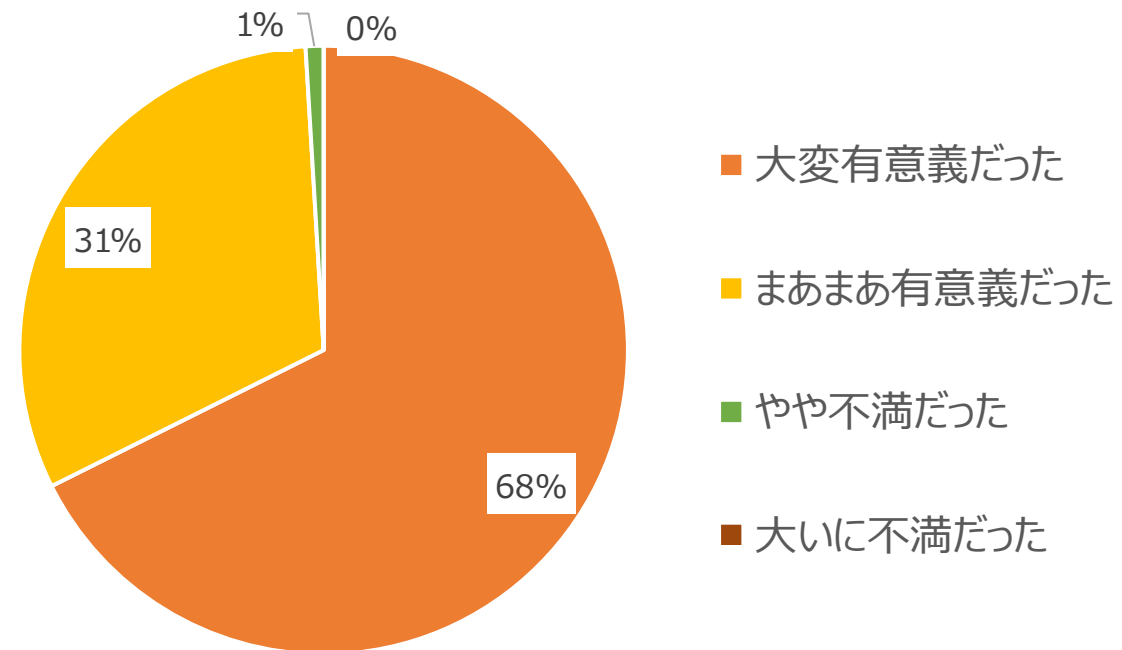
本研修を受講することで、以下の基本知識、基本スキルの習得をめざします。

- ① ダイバーシティ就労支援の基本理念、現行でも活用可能で多様な基本制度・基本施策の基本知識
- ② 障害者以外の主要な対象者の態様別特性および支援の質を高めるための基本知識、基本スキル
- ③ 公的機関との連携、就職後の支援を進めるうえでの基本知識
- ④ 一般就労、企業実習、中間就労を進めるうえでの基本知識、基本スキル

## < 昨年度の研修受講者アンケートより >

- 11月全4日間  
（総時間数20時間）
- オンライン方式
- 全国受講者212名
- 障害者就労支援系の  
機関の方が6割

研修への評価は極めて高い  
約7割が「大変」有意義とし、  
残りのほとんども「まあまあ有意義」と回答







## 5. 2023年度研修について

### (1) 研修概要

- 2023年10月30日（月）・31日（火）・11月14日（火）・16日（木）
- 10:00～16:00（11月16日のみ10:00～16:20 ※懇親会：16:30～18:00）
- 主催：日本財団 後援：厚生労働省 運営受託：一般社団法人ダイバーシティ就労支援機構
- オンライン方式 ※11月16日（演習中心）のみオンラインと会場のハイブリッド
- 受講料 18,000円

### ➤ 受講者特典

ダイバーシティ就労支援クラブ 入会金・年会費（今年度）無料

期間限定で録画ビデオ視聴可能（オンデマンド受講）

WORK! DIVERSITYプロジェクトでは、今後、ダイバーシティ就労支援事業所の認定制度の実現を目指しています。

今回の研修の修了者には、「ワークダイバーシティ実践研修受講証明書」を日本財団会長名で賦与します。

## (2) 研修プログラム

第1科目群	総論・制度理解	「働く」とは何か 地域共生社会の理念とWORK! DIVERSITYプロジェクト 本研修のまとめとダイバーシティ就労支援の展望 就労支援制度の理解1（生困・生活保護・重層的支援体制整備） 就労支援制度の理解2（雇用訓練制度（若者サポートステーション含む））
第2科目群	態様別理解	LGBTQ・刑務所出所者等・ひきこもり・難病 高齢者等ケア付き就労
第3科目群	就労困難者のニーズ把握等	ハローワーク等の公的支援機関、自治体、社会福祉協議会等との連携 地域企業との連携（地域企業への就職、実地研修を推進する方策） 多様な就労困難者の就労可能性を広げるアセスメントと支援の世界の動向 就労困難者の就労意欲向上方策 ジョブコーチ的視点からのダイバーシティ就労支援
第4科目群	取り組み・実践	自治体が行う連携のポイント 地域でのインクルージョン及びソーシャルファームへの取り組み 千葉県におけるダイバーシティ就労への取り組み <パネルディスカッション> モデル事業の実践からダイバーシティ就労の今後を考える
第5科目群	演習	アセスメント支援 就労体験や職業訓練を利用した就労支援プログラムの作成

○第1日～3日 講義終了後、希望者にてグループリフレクション（振り返り）実施

○第4日 懇親会（会場・オンライン）開催

## (3) 講師陣

- 朝日雅也 【座長】 埼玉県立大学名誉教授
- 池田徹 NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば 理事長
- 伊藤正俊 KHJ全国ひきこもり家族会連合会顧問
- 川尻洋美 群馬大学医学部附属病院患者支援センター 難病相談支援員（保健師・認定難病看護師）
- 櫛部武俊（一社）釧路社会的企業創造協議会代表理事
- 栗本浩一（一社）ワーク・ダイバーシティ・スタイル 代表理事
- 後藤千絵（一社）サステイナブル・サポート代表理事
- 佐藤洋作 認定NPO法人文化学習協同ネットワーク 代表理事
- 島田将太 NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば 事務局長
- 志村幸久（独法）労働政策研究・研修機構総務担当理事
- 鈴木由美 厚生労働省社会・援護局地域福祉課 生活困窮者自立支援室就労支援専門官
- 清家篤 日本赤十字社社長（慶應義塾学事顧問）
- 高橋尚子（一社）京都自立就労サポートセンター理事
- 滝脇憲 NPO法人自立支援センターふるさとの会代表理事
- 田中勝則 A´ワーク創造館（大阪地域職業訓練センター） 就労支援事業部長
- 樽見英樹 日本年金機構副理事長、元厚生労働事務次官
- 辻邦夫（一社）日本難病・疾病団体協議会常務理事
- 中崎ひとみ（社福）共生シンフォニー理事長
- 中村信二 福岡県就労支援協同組合理事長
- 西岡正次 A´ワーク創造館（大阪地域職業訓練センター）副館長・就労支援室長
- 林星一 座間市福祉部参事
- 春名由一郎（独法）高齢・障害・求職者雇用支援機構 障害者職業総合センター副統括研究員
- 藤尾健二 千葉県障害者就業・生活支援センター長
- 三宅晶子（株）ヒューマン・コメディ代表
- 村木太郎 元厚生労働省総括審議官、就労継続支援A型事業所全国協議会理事
- 薬師実芳 認定NPO法人ReBit代表理事
- 若尾勝己 NPO法人東松山障害者就労支援センター代表理事



インクルーシブな日本社会の実現を目指し、  
ダイバーシティ就労支援実践研修で  
ともに学びましょう!